

全国学力・学習状況調査（令和8年度問題） 振り返り表（小学校算数）

6年 組 番

氏名

/ 16問

に○、×を書いて自己採点をし、振り返りましょう。

1	(1)	式 $8 \times 8 \times 8$		(1)
	(2)	5 cm	12 cm	(2)
	(3)	$36 \text{ cm}^3$		(3)
	(4)	求め方 （正答例）直方体イの3辺の長さは、それぞれ25cm、 $10 \times 2 = 20$ で20cm、 $7 \times 2 = 14$ で14cmです。3辺の長さの合計は、 $25 + 20 + 14 = 59$ で、59cmです。59cmは60cm以下なので、送料は920円です。		(4)
		送料 920円	※求め方と送料の両方が書けていたら○	

2	(1)	イ		(1)
	(2)	式 $14 \div 0.2$ $\square \times 0.2 = 14$ $14 \div 20 \times 100$ $14 \div 2 \times 10$ $14 \times 5$	答え 70 匹	(2)
	(3)	ア	ウ	(3)
	(4)	ア	オ	(4)

《振り返って確かめてみよう》

	関連する単元名	教科書のページ
1	(1) 小5 直方体と立方体の体積	小5上 P.16～31 特にここ → P.20
	(2) 小4 直方体と立方体	小4下 P.100～113 特にここ → P.106
	(3) 小5 直方体と立方体の体積	小5上 P.16～31 特にここ → P.18
	(4) 小4 直方体と立方体	小4下 P.100～113 特にここ → P.104
2	(1) 小4 がい数の表し方と使い方	小4上 P.118～130 特にここ → P.122
	(2) 小5 割合	小5下 P.64～80 特にここ → P.74
	(3) 小5 単位量あたりの大きさ	小5下 P.26～41 特にここ → P.27～29
	(4) 小5 小数のかけ算 小数の倍	小5上 P.40～51、P.64～70 特にここ → P.64～65

3	(1)	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">9</td> <td style="padding: 5px;">.</td> <td style="padding: 5px;">5</td> <td style="padding: 5px;">1</td> </tr> </table>	9	.	5	1	(2)のアとイは、2つとも合っていたら○	(1)
9	.	5	1					
	(2)	ア $6.37 - 5 = 1.37$	イ $5 - 3.76 = 1.24$		(2)			
	(3)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">           記号 ア      わけ         </div> <p> <math>\frac{7}{3}</math>と<math>\frac{7}{4}</math>を通分すると、<math>\frac{7}{3}</math>は<math>\frac{28}{12}</math>、<math>\frac{7}{4}</math>は<math>\frac{21}{12}</math>なので、<math>\frac{7}{3}</math>の方が大きい。  <math>\frac{7}{3}</math>と<math>\frac{7}{4}</math>を小数で表すと、<math>\frac{7}{3}</math>は2.33…、<math>\frac{7}{4}</math>は1.75なので、<math>\frac{7}{3}</math>の方が大きい。  <math>\frac{7}{3}</math>と<math>\frac{7}{4}</math>を帯分数で表すと、<math>\frac{7}{3}</math>は<math>2\frac{1}{3}</math>、<math>\frac{7}{4}</math>は<math>1\frac{3}{4}</math>なので、<math>\frac{7}{3}</math>の方が大きい。            分子が同じ分数では、分母が小さいほど分けた一つ分が大きくなるから、<math>\frac{7}{3}</math>の方が大きい。         </p>				(3)		
	(4)	ウ			(4)			

※正しい記号と、左の4つのわけのうち、どれか1つが書けていたら○

4	(1)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">           学級 <span style="margin-left: 20px;">2</span> <span style="margin-left: 20px;">組</span> </div> <p>(正答例) 表1の2組の人数の30と表2の2組の合計の人数の27を比べると、「全員分のアンケートが整理されていない学級」は2組と分かります。</p>	※(1)は、学級の答えと説明の両方が書けていたら○	(1)
	(2)	20 分間		(2)
	(3)	ア 13 人	イ 8 人 (4) イ	(3) (4)

※(3)のアとイは、2つとも合っていたら○

《振り返って確かめてみよう》

	関連する単元名	教科書のページ
3	(1) 小4 小数のしくみ	小4上 P.72～89 特にここ → P.79
	(2) 小4 小数のしくみ	小4上 P.72～89 特にここ → P.84～85
	(3) 小4 小数のしくみ	小4下 P.36～48 特にここ → P.43
	(4) 小4 小数のしくみ	小4下 P.36～48 特にここ → P.40～41
4	(1) 小4 折れ線グラフと表	小4上 P.20～35 特にここ → P.32～33
	(2) 小4 小数のしくみ	小4上 P.90～91 特にここ → P.91
	(3) 小4 折れ線グラフと表	小4上 P.20～35 特にここ → P.32～33
	(4) 小5 帯グラフと円グラフ	小5下 P.82～91 特にここ → P.84

《次へのステップ! ～わたしの課題と目標～》

(問題を解いて気付いた自分の課題や、これからの学習の目標を書きましょう。)